



## トップニュース：がんばれ岐阜！路面電車ネットワーク総会を岐阜で開催

存続か廃止か 6月中にその存否が決定されることになっている岐阜の名鉄岐阜市内線・揖斐線・美濃町線。去る5月12日、全国路面電車ネットワークの岡将男会長が岐阜市長を訪問され、対談の結果、市長は存続に前向きであるとの印象をうけたそうです。しかし、資産の譲受譲渡や、経営主体の問題など課題が多いため、これからの1ヶ月間の取組みが存否をきめると判断されています。

そんな中、来る5月22日、岐阜市において全国路面電車ネットワーク総会が開催されます。これは電車存続の取り組みの中で、決定的な役割を担うこととなります。当日、スケジュールの空いている方は是非岐阜に行って岐阜の皆さんの応援をしてあげてください。集合場所は、新岐阜駅電停向かい、スターバックス店前。集合時間は13:00です。それから、カンパの募集も始まっています。岐阜の路面電車を守るために、そして全国の地方鉄道を守る道筋をつけるために、是非、私たちも応援しましょう。(文：清水)

### 「路面電車のホントを訴える」カンパ：

加入者名 『未来をつくる路面電車』を訴える緊急ネットワーク

郵便振替口座 00820-1-59217

(加入者住所 岐阜市神田町6-22-3の3階)

## 活動報告

- 4月27日 都市再生モデル部会
- 5月8日 作業部会
- 5月11日 幹事会
- 5月13日 第20回まちづくり懇談会
- 5月15日 幹事会

## 今後の予定

- 5月16日(日) ROBAの会3周年記念講演 講師：本田豊氏  
ROBAの会第4回定例総会
- 5月20日(木) 全国都市再生モデル調査最終提出
- 5月22日(土) 全国路面電車ネットワーク総会 in 岐阜
- 5月28日(金) 地域環境研究所助成金受領式
- 5月29日(土) 福井市NPO推進議連主催 意見交換会
- 6月3日(木) 第21回まちづくり懇談会  
福井県立大学ROBAの会講義
- 6月8日(火) 6月運営会議
- 6月25日(金) 6月例会

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

土木学会論文集 2004-4 NO.758 - 63 土木学会

土木学会論文集の中に、「米国のスマート型成長政策の動向：社会資本と地域開発の統合的視点から」（谷口守、Robert CERVERO）という論文がある。路面電車ファンの殆どは、コンパクトシティを好み、「歩いて暮らせるまちづくり」を志向するが、人口減少時代で、自動車保有者が多数派の国で実現可能かどうか。この論文は、その根本問題を考える理論的枠組みを提案しようとしている。

本来政治的な問題である、コンパクトシティをめざせるかどうかを理論で解き明かそうとする取り組みは挑戦的である。私自身は、自動車利用者に社会的費用を払わず経済的規制のみが最適な都市交通政策と考えているが、それが実現できないとき、セカンドベストの政策を行う必要があり、市民的議論の重要性を改めて認識させる論文であった。

## もうひと頑張り！ 旧JR可部線復活のため、基金にご協力をお願いします

JR可部線は去る2003年11月30日をもって廃止され、JR初の廃止路線となりました。可部線は起点に政令指定都市の広島市を持ち、終点に景勝地の三段峡をひかえるなど、JR西日本中最悪の条件というわけではなく、沿線住民や、「これが廃止されるなら、ほかのローカル線などひとつたまりもない」と感じた全国の応援団が活発な存続運動を展開しました。最初の運動は、よくあることですが「乗って残そう運動」と「JRへの存続のお願い運動」でした。その結果が廃線届け提出。運動は一旦後退しました。しかしその後「提案型・実践型市民活動」へと形を変え、最後は大きく盛り上がりましたが、時間切れで廃止となりました。

運動は廃止後も下火になることはありませんでした。運行再開のための細かな試算書も完成しており、地域の住民の皆さんはいくつもあった運動団体を太田川流域鉄道再生協会に統一・改組し、鉄道再生基金を設立して募集を始め、現在では540万円ほどになっています。同時に太田川鉄道株式会社を2004年4月に立ち上げ、運行再開の準備を始めています。

ただ、沿線市町村はこの基金の結果をもって、鉄道の再生を認めるか、行政として再生活動を停止させて線路撤去を行うかの判断をすることになっています。その期限が5月末。ボーダーラインが「1千万円越え」と見られます。1千万円越えがボーダーとの根拠はありませんが、それをボーダーと見る人が多いようです。

もし、ここに全国からさらに基金を募って1千万円越えが達成できれば、今年の9月には「太田川鉄道」として待望の列車が走り始めるはずです。

沿線の人たちの切実な想い。この想いは、京福電車が止まって私たちが感じ、存続・運行再開のための運動に一生懸命取り組んだあの時の想いと一緒です。

手を差し伸べてください。あなたの差し伸べた手が、私たちの仲間の大切な鉄道を救うはずです。「太田川流域鉄道再生基金」にご協力をお願いします。

### 『太田川流域鉄道再生基金』の使用目的

1. 廃止となった可部～三段峡で、官民一体となった上下分離方式による第三セクター鉄道事業体の設立に対する支援として使用します。
2. 官民一体となった事業体の設立が不可能となった場合に、代替的に設立される事業体に対する支援として使用します。

### 基金管理運用組織

太田川流域鉄道再生協会（会長・伊藤 稔） 〒731-3411 広島県山県郡加計町大字穴558番地  
事務局 〒731-3501 広島県山県郡加計町大字加計3540番地の4 Tel 0826-25-0675

### 基金募集期間

平成15年12月1日から平成16年5月31日まで

### 応募方法

1. 一口1000円（応募は何口でも可能です）
2. 基金管理上の理由により、ご本人による郵便振込みにて受けつけます（振込み手数料はご負担ください）  
協会への現金郵送や持込みによる応募はお受けできません。
3. 振込み用紙には、住所・氏名を忘れずにご記入ください（住所・氏名は基金活動以外には一切使用致しません）

### 郵便振替口座番号

01310-4-10440

### 郵便振替加入者名

太田川流域鉄道再生協会

### 返還義務

上記の使用目的が消滅した場合には、応募金から返還手数料・通信費を差引いた全額を返還いたします。  
振込み用紙に住所・氏名がない場合には、応募金の返却が出来ませんのでご注意ください。

# 〔ご案内〕

NPO

法人設立に向けた「設立総会」を今年中に開催いたします。

設立趣旨書の抜粋を下に示す。

## （ 1 背景にある社会経済情勢およびその課題や問題点 ）

時代は少子高齢社会に突入しつつあります。人々は、今でもクルマが主役だった20世紀の意識から抜け出せないでいる。クルマ社会はモビリティの不平等、過大な環境負荷、都市問題の増幅という大きな弱点を抱えている。いまのクルマ中心のまちは決してふさわしくありません。

安心して誰もが利用でき環境に優しい公共交通機関の活用を考える時期に来ている。

## （ 2 その課題や問題点の解決策または将来目標 ）

バスや電車による公共交通ネットワークの再構築をすること、それによるまちの再生の実現をするための市民への啓蒙活動と、安心して乗れる未来型の新しい路面電車とそれを活かす社会システムの構築をする。

## （ 3 法人の設立の経緯や動機または法人格が必要となった理由 ）

今までも以下に示すとおりの活動をしておりますが、1年や2年では私達の目標はできない。そこで、これらの活動に責任を持って持続的な活動を展開するために法人格の取得するに至った。

## （ 4 主な事業およびその事業が営利を目的とせず、不特定・多数の利益に寄与する説明 ）

まちづくり懇談会の継続...まちづくりに対して思いを抱いている団体との意見交流をする活動  
のりりマップ作成...バスや電車が以下に利用しやすいかの情報を発信するマップを作成（更新を含む）  
シポジュームの開催...バス・鉄道等の公共交通に係わる諸問題をいろいろな確度から  
県民に情信するための活動

サミット開催、参加...公共交通に関するサミットに参加し、場合によっては福井での開催

## （ 5 法人設立の意思表示・決意 ）

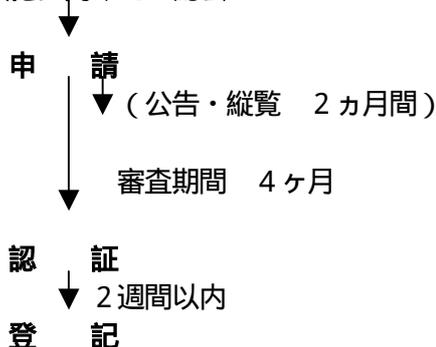
今まではがむしゃらに進んできたが、これからはその情熱は持続させつつ、きちんと「利用しやすい公共交通の実現」に向けて着実に一步一步進んでいきます。また、決して「頭でっかち」、「政治的圧力団体」の運動体ではなく、市民、住民の側に立って『持続可能なまちづくり』を進めていくことを基本とします。

役員等

今回の役員となった方がNPO法人の役員となる。

今後のスケジュール

法人化に向けての総会



## 第20回まちづくり懇談会の報告

日時：5月13日(木) 19:00~21:00

場所：駅前商店街会議室(五十嵐ビル6F)

参加者：ROBA/高橋、畑、林博、林照、玉井、坂川、門田、水野、  
内田 まちなかNPO/永井、村北、大森、古市、今川

### 議 題

全国都市再生モデル調査の概要について林博幹事にて予め準備した  
パワーポイントとダイジェスト版を使って当該調査の概要を説明いたし  
ました。調査のレポート全体の解説までは難しいものの、コンパ  
クトに『協働による公共交通とまちづくりのすすめ』を映像を交えて発  
表しました。

中心市街地の交通の諸問題について(討論)

・豊島陸橋が来年には取り壊されるが、その際の中心部にはいるク  
ルマの道路が約1年間に亘り閉ざされ買物客の減少が懸念される。

踏み切り設置や工事の工期縮減など提案をしてはどうか。

具体的な改善案を今後この会でも検討していこうということ  
になった。

・北の庄通りからフェニックス通りに右折ができないことになり、ま  
ちなか買物客の減少が顕在化している。

それが原因で客が減少しているのか、はなはだ疑問がある。

ほかに原因が見当たらず、車での流入流出の不便さが主因である。

・電車の電停の位置の変更により電車の走行がスムーズになりサ・ピ  
ス向上に繋がる。

・まちなかの駐車禁止区間を少なくし、差し支えない程度に駐車帯を設  
ける方向とのこと。

・道路の荷捌きのスペースも右折ラインとの関係で確保することも検  
討の余地がある。 等々

### 次回開催

日時：6月3日(木) 19:00~21:00 場所：駅前商店街会議室

議題：5月17日開催の篠谷さん講演のビデオ上映『都市再生と交通』と  
題して、まちなかの交通についての講演があります。

その講演に関して、討議をしようと思います。

(内田)

### 編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「年金払えって・・・お前に言われたくないぞ！」

清水(副編集長)

「年金支払いは完璧です」

川口(副編集長)

「年金は出世払いをお願いします」

内田(発行責任者)

「年金未納はありません・・・たぶん・・・」

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>